



Personal MBA

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

利益は必ず企業の正しい評価である。これらはより優れた企業がこれを得るのである。

製品においてその優位性を得ることは、企業が絶対的な安定性を実現できるのである。

知的生産性において企業はその未来を求めることができるのである。

旧社会の手工業は、今日競争における経済においてもはや通用しない。自動化における生産性は、価格優位性ととともに、企業の新しい基準を得るのである。

生産性の向上は、利益率において証明されるのである。

これらは新しい現実が生み出す高い利益が新しい企業の現実を与えるのであることの証明である。またこれらは既存のすべての産業が新しい基準においてこれら高い利益性とともにした事業転換を有するのである。

これはビジネスという現実が提案する産業と経済の新しい姿なのである。

今日経済はその本質を転換している。それらは進歩が与える新しい技術と生産性が企業の資本力を拡大しその企業が大きな影響を与えているのである。

これらは資本の独占が存在し、これら資本がさらなる拡大を求めているのである。

生産性の拡大は、その高いコスト効率性の向上を本来与えるものである。しかし今日のインフラはその反対であり、企業がそれら資本を有することで将来における新たな変化への対応と求めていると破断できるのである。

既存すべての産業は新しい価格基準において自己の転換を模索しているのであり、それらが完全な現実の転換を与えているのである。

企業は安定性において自己を有することが理想である。